| 授業科目(ナンバリング) | キャリア開発 B | | | 担当教員 | 韓　榮芝 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 2年・後期 | 必修・選択 | 必修 |

| 授業のねらい | アクティブ・ラーニングの類型 |
|---|---|
| 本講座は、大学生が、自分が学んだ大学のある地域で就職し、地方創生のリーダーとして活躍することを目指す企業・団体・福祉施設等から派遣される講師から各産業界の特性と、地元で働き、暮らすことの意義を学ぶものである。また、講師とのディスカッションやレポート作成を通じ、それぞれの活動の背景にある理念や考え方に触れ、社会に貢献し、自分らしい働き方とは何かを考える。 | ①②⑥⑩ |

| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | 評価手段・方法 | 評価比率 |
|---|---|---|---|
| 専門力 | （1）　県北エリアの産業構造について的確に説明できる。<br>（2）　自分が関心のある産業については、その産業特性や担当講師の所属する企業や福祉施設に関して詳しく説明できる。 | 課題レポート | 50% |
| 情報収集、分析力 | （1）　講師の所属する企業・団体について、創業以来の歴史や現在の業績、業界内でのポジショニング等について事前に情報取集し、講義の内容をより深く理解することが出来る。 | 課題レポート | 10% |
| コミュニケーション力 | （1）　グループディスカッションにおいて､他者の発言を傾聴し、同時に活発な意見交換を行うことが出来る。<br>（2）　講義を通じて生じた関心事や問題意識を、与えられた字数制限内で的確に文書で表現することが出来る。 | グループディスカッション報告書 | 10% |
| 協働・課題解決力 | （1）　グループディスカッションにおいて、積極的に役割を引き受けることが出来る。<br>（2）　活発な意見交換を通じてグループとしての結論を出すことが出来る。 | グループディスカッション報告書 | 10% |
| 多様性理解力 | （1）　一つの地域の中に様々な産業が存在し、その組み合わせにより地域の特性が表れるということを理解できる。<br>（2）　地元で就職し、暮らすという選択肢もあるということを理解できる。 | 課題レポート | 20% |
| 出　　席 | | 受験要件 | |
| 合　　計 | | 100% | |

評価基準及び評価手段・方法の補足説明

（1）　期末課題レポート（配点合計80%）では、自分が特に関心を持った講義を２～３選択し、その産業特性の概要と自分自身の問題意識について記述することを求める。
（2）　グループディスカッションにおいて各回ともに、誰がどんな役割を引き受けたかどうか、そしてグループとしてどんな結論が出たのかについてグループ単位で報告書を作成することを求める。
（3）　上記すべての文書は、事前に開示するルーブリックで評価する。

授業の概要

（1）　県北エリアから派遣された経営管理者等が講師として講義する。
（2）　地元で働くことをテーマに、グループディスカッションを行う。

教科書・参考書

教科書：なし
参考書：なし（※ただし講義中に講師から推薦される場合もある。）　指定図書：なし

授業外における学修及び学生に期待すること

本講座のために各産業界から講師を招聘しているが、多忙のなかで本学に来ていただく講師への礼儀としても、時間厳守、真摯な受講態度を求める。また講義内容は広範にわたるため、下記シラバスの「予習・復習」欄に記載していることは必ず実行してもらいたい。
職場視察をグループで申し込む場合、責任者が中心となって参加者名簿の作成や講師との日程調整を行う。視察に当たっては時間厳守、そして本学学生として恥ずかしくない服装や言動などに留意してもらいたい。

| 回 | テ　ー　マ | 授　業　の　内　容 | 予習・復習 |
|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | シラバスの説明、外部講師への応対態度などの注意、ルーブリックの説明などを行う。また地域創生の意義についても理解を深める | シラバスを事前に読み込んでおく |
| 2 | まちづくりにおけるさまざまな行政の役割① | 佐世保市におけるさまざまな部署とそれぞれの地域課題への取り組みについてまなぶ(ゲストスピーカー・実務家) | 佐世保市のＨＰで佐世保市にどんな部署があるのかを調べておく。 |
| 3 | まちづくりにおけるさまざまな行政の役割② | 少子化および高齢化に関する取り組みについて、移住促進や若者定住施策、地域コミュニティ活動支援についてまなぶ（ゲストスピーカー・実務家） | 自分の生活環境について良い点と悪い点を書き出しておく |
| 4 | 地域の会社ができる価値創造① | 都会ではなく「地域の会社だからできること」でどんな価値を生み出せるのかについて。（ゲストスピーカー・実務家） | 自分の地域で誇れるものとその理由を考える。 |
| 5 | 地域の会社ができる価値創造② | 地域に根差す企業が、利益優先ではなく、持続した社会貢献をビジネスの多角化につなげていくべきかを学ぶ（ゲストスピーカー・実務家） | 地域で困っていることについてどんなことがあるか具体的に考える |
| 6 | 地域の会社ができる価値創造③ | 地域と都会との比較において語られる「豊かな暮らし」と定住人口の増加につながる取り組みについて学ぶ（ゲストスピーカー・実務家） | 都会と地域の暮らしにはどんなメリット・デメリットがあるかを考える。 |
| 7 | 地方創生 | 現在本学を含む長崎県内５大学が進めている地方創生事業（ＣＯＣ＋事業）について説明する | ポートフォリオのＣＯＣ＋事業、事業内容を理解しておく |
| 8 | 地域における福祉を学ぶ意義 | 地域福祉とは何か、その理論と目標及び地域の捉え方と重層的な生活圏域設定の意義と方法を学ぶ | 地域問題とは何か、自分なりに考えて、内容をまとめておく。 |
| 9 | 社会福祉協議会の役割と実際 | 社会福祉協議会の歴史と現状、地域福祉推進に果たす社会福祉協議会の今後の役割と課題について学ぶ | 配布資料の内容を読んでまとめておく。 |
| 10 | NPO 法人の役割とボランティア活動 | NPO 法人やボランティアの歴史と現状、地域福祉推進に果たす NPO 法人とボランティアの今後の役割と課題について学ぶ | 配布資料の内容を読んでまとめておく。 |
| 11 | 地域福祉の推進と福祉教育 | 住民の福祉意識の醸成と主体形成に関わる福祉教育の在り方について学ぶ | 配布資料の内容を読んでまとめておく。 |
| 12 | 佐世保の観光について | 県北の観光拠点である佐世保市の観光について学ぶ（ゲストスピーカー・実務家)。 | 佐世保における観光データを市の HP で確認する。 |
| 13 | グループディスカッション（１） | 「地域で働くメリット・デメリット」をテーマにグループで話し合い、結論を文書で提出する | テーマについて、保護者や友人等にも尋ね、自分の見解をまとめておく |
| 14 | グループディスカッション（２） | 「地元企業が求める人材像」をテーマにグループで話し合い、結論を文書で提出する。 | テーマについて、保護者や友人等にも尋ね、自分の見解をまとめておく |
| 15 | 授業の振り返り | これまでの授業内容を振り返り、最後に課題レポートとルーブリックについて説明する | |